



森からのプレゼント

梵珠少年自然の家

1 活動のねらい

- 自然物を拾い集めながら、自然物を注意深く観察する。
- 自然の素材を活かし、工夫しながら創作する喜びを味わう。
- 活動の思い出となる手づくりの記念品を作り上げる。
- 道具の安全な使い方を習得させる。

2 活動の概要

木の板に小枝や松ぼっくりなどの自然物を飾り付け、壁かけ等を作る活動です。

- (1) 人数 80人以内
- (2) 対象 小学校3年生以上
- (3) 期間 4月～11月
- (4) 時間 2～3時間（説明20分+活動100～160分）
- (5) 場所 体育館、研修室1・2
- (6) 経費 60円／1作品
- (7) 指導 依頼のある場合、製作方法等について、自然の家職員が説明を行います。



<作品例1>

3 準備物

団体	救急薬品
個人	軍手、小枝や松ぼっくりなどの木の実、葉っぱなどの自然物、ビニール袋
自然の家	材料：A5版程度の板、木の輪切り数種（5個／1人）、麻ひも、豆類（黒豆は5個／1人） 用具：のこぎり、油性ペン、鉛筆、はさみ、木工用ボンド、ホットボンド 剪定ばさみ、ピンセット、延長コード、電動ドリル、紙やすり、作業板

4 引率者の役割分担

代表責任者	1名。全体の総括、指揮、連絡にあたる。
活動支援者	数名。子どもたちの活動を支援し、安全と事故防止に努め、緊急時に対応する。






<作品例2>



<製作の様子>

5 活動の流れ

	内 容
説 明	<ul style="list-style-type: none"> 参考作品を提示しながら、作り方について説明 用具の使い方と安全について説明
活 動	<p>①自然物を採集する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 材料になる枝や木の実などは、落ちているものだけを採集する。 <p>②採集してきた自然物で何を作るかイメージする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 板の上に自然物を配置し、イメージを膨らませる。 (例) ウサギ、昆虫、雪だるまなど自由に発想する。  <p>③ひもを通す穴をドリルであける。</p> <p>④ホットボンド等で接着する。</p> <ul style="list-style-type: none"> どんぐりをくっつける時は、接着面を紙やすりで、削ると接着しやすい。 ※細かい部品の接着の際には、ピンセットを使う。 特にやけどに注意が必要。 必要に応じて、枝を切ったりペンなどで彩色したり、文字等を書き込んだりする。  <p>⑤ひもを通して完成。</p> 
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 感想発表や友達の仕事の鑑賞 用具の返却と後片づけ

6 実施上の留意点

- 様々な自然物を収集しやすい秋季の実施が適している。
- 2週間前までに、製作数を自然の家に連絡する。

7 安全に実施するためのポイント

- ホットボンドによるやけどや、剪定ばさみ等の刃物の扱いには十分気をつける。

